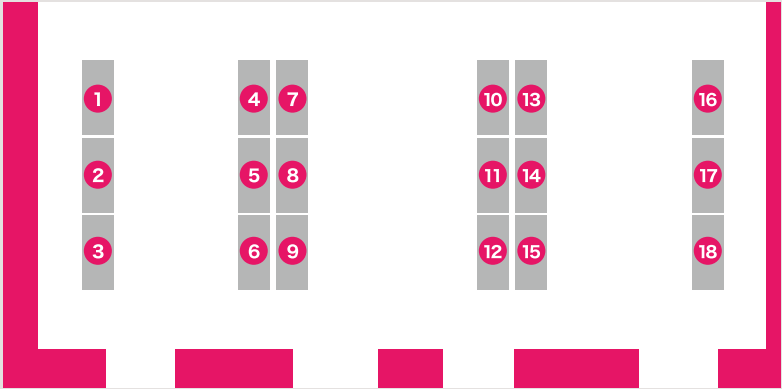


高校生の部、一般の部の
プレゼンテーションの登壇者や
審査員・講師、プラットフォーム会員との
交流の場です。
ぜひパートナーシップで
共に取り組む協働相手を
探してください！



区 分	番号	団体名
審査員	①	特定非営利活動法人NPOサプライズ 飯倉 清太 氏
審査員	②	一般社団法人 日本サステナブルビジネス機構 松田 孝裕 氏
審査員	③	静岡県地球温暖化防止活動推進センター 服部 乃利子 氏
高校生	④	浜松学芸高等学校 地域創造コース
高校生	⑤	静岡県立浜松商業高校調査研究部
高校生	⑥	浜松開誠館中学校・高等学校 SDGs部
高校生	⑦	静岡県立浜松大平台高等学校 国際情報ビジネス系列
高校生	⑧	吉田恋菜
高校生	⑨	オイスカ浜松国際高等学校 環境SDGsプロジェクト
一 般	⑩	浜名湖ネイチャーズ
一 般	⑪	大瀬モータース
一 般	⑫	中村建設株式会社
一 般	⑬	社会福祉法人 復泉会 くるみ作業所 リサイクル事業
一 般	⑭	株式会社JACKカンパニー
一 般	⑮	siisow株式会社
PF会員	⑯	株式会社サツ川製作所
PF会員	⑰	#こども救命士になろうプロジェクト／株式会社市川保険サービス
PF会員	⑱	株式会社栄商会

浜松市地方創生 SDGsコンテスト

高校生・一般の部 最終審査発表会



13:00 開会・主催者挨拶

13:15

高校生の部 プレゼンテーション

① 浜松学芸高等学校 地域創造コース/浴衣を着てみたくなる街づくりへ～浴衣De Night～

② 静岡県立浜松商業高校調査研究部/地域創生SDGs!!浜松焼そばの軌跡

③ 浜松開誠館中学校・高等学校 SDGs部/ただの植木鉢ではありません
～ペットボトルキャップが植木鉢になるまで～

④ 静岡県立浜松大平台高等学校 国際情報ビジネス系列/
浜名湖の畔でSDGs・循環型社会を実現するための取り組み

⑤ 吉田恋菜/浜松市の子どもの貧困を変えるためにフィンランドに留学!!

⑥ オイスカ浜松国際高等学校 環境SDGsプロジェクト/
浜名湖ブルーカーボン未来創造プロジェクト

14:25

一般の部 プレゼンテーション

① 浜名湖ネイチャーズ/浜名湖ネイチャーズ アマモプロジェクト

② 大瀬モータース/思いやりプロジェクト～他人事から自分事へ～
みんなが安心して暮らせる街づくり

③ 中村建設株式会社/浜松発CO2を吸収する脱炭素サイクルシステム

④ 社会福祉法人 復泉会 くるみ作業所 リサイクル事業/
「よみがえる資源、みんなで福祉」アルミ缶回収で繋ぐ、みんなで福祉の輪

⑤ 株式会社JACKカンパニー/遠州人が自慢したくなる街づくり～やらまいか精神で活性化～

⑥ siisow株式会社/服作りで心豊かによりよく生きる価値共創プロジェクト

15:35

特別講演

講 師： 松田 孝裕氏 （一般社団法人 日本サステナブルビジネス機構理事 SDGsコンサルタント）

テーマ： これからの社会に求められるSDGsの取組とは

16:30 表彰

16:50 ポスターセッション

高校生の部		
1 浜松学芸高等学校 地域創造コース 浜松は浴衣取扱量日本一を誇る浴衣生産の街だが、ライフスタイルの変化や安価な輸入浴衣の影響で販売数は減少を続けている。浜松の注染染めや浴衣生産の地場産業を産業文化として後世に残し、日本文化の盆踊りを再び盛り上げるため、地元企業や行政との協働により創作盆踊りイベント「浴衣 De Night」を開催。浴衣産業が持続し、最終的には浜松が街中やイベントで浴衣を着てみたくなる街になることを目指す。	2 静岡県立浜松商業高校 調査研究部 2020年、新型コロナウイルスによる巣ごもり需要に対応した浜松の特産品を開発することで、浜松を活性化することを目的に、『浜松焼そば』を開発した。浜松サービスエリアで浜松の特産品の状況やお土産のニーズを調査し、浜松らしい特産品の検討と、SDGsの一つである地産地消を意識した地元企業との協働による開発を行った。引き続き、浜松に新しいお土産を誕生させ、経済成長に貢献するために部員全員で新商品の開発に取り組む。	3 浜松開誠館中学校・ 高等学校 SDGs部 校内で破棄されるペットボトルキャップを回収し新しい価値を生み出そうという協働プロジェクトを立ち上げた。プラスチックを再利用し、できるかぎり環境負荷を減らす方法を産官学で協議した。生徒による「製品化プレゼンテーション大会」を経て、ペットボトルキャップを再利用した植木鉢が採用された。地元企業の協力により製作した植木鉢を浜名湖花博2024で展示し、プラスチックの利用に関する普及活動を行った。
4 静岡県立浜松大平台高等学校 国際情報ビジネス系列 浜松市内の事業者が実施する循環型農業によって生産されるバナナについて、国産、無農薬という付加価値がついたバナナとして広くPRする方法を考え、市民に認知してもらうことを目的に活動している。地元製菓企業とコラボ商品を開発し、市内商業施設での販売実習を通して、地域の方にPRし、多くの方に認知し購入してもらうことで、環境に配慮したビジネスモデルが広がることを目指す。	5 吉田恋菜 全ての子どもたちが幸せに暮らせる浜松市を目指すために、浜松市内の子ども食堂でボランティア活動をしている。もっと多くの子どもたちを救いたいという思いから、静岡県の「ふじのくにグローバル人材育成事業」に応募し、子どもの貧困に関する先進国であるフィンランドに留学し、現地の教育について学ぶとともに、県内の学生を集めた学生団体を設立し、フィンランドの取組や浜松市の課題など情報発信等に取り組んでいる。	6 オイスカ浜松国際高等学校 環境SDGsプロジェクト 太平洋から海水が流れ込む浜名湖は、湖にして海の干潟による浅瀬に降り立てる独特の環境である。海の幸や美しい景色、浜名湖の魅力を守るため、平成6年8月に開始したマングローブの植栽実験に始まり、現在では地元の漁業組合や市民活動団体、企業、行政と協働し、浜名湖の水質調査や生態系の観察、観光資源の保全、自然景観の保全、水産業の復活等につながる取組を数多く実施している。



テーマ：これからの社会に求められるSDGsの取組とは

講師 松田 孝裕 氏 一般社団法人 日本サステナブルビジネス機構理事 SDGsコンサルタント

1983年3月、慶應義塾大学経済学部を卒業後、富士通株式会社に入社。その後、ソフトブレーン株式会社（東証一部上場）代表取締役社長、株式会社エアウィーヴ代表取締役社長、株式会社サイバージムジャパン代表取締役社長を歴任。現在は、ティ・エムコンサルティング株式会社ファウンダー兼CEO、株式会社サイバージムジャパン会長、株式会社MSS代表取締役社長に就任中。数々の中小・中堅企業を育てるとともに、SDGsコンサルタントとしても活躍中。中小・中堅企業の成長には、持続可能なビジネスモデルの構築や環境・社会・ガバナンス戦略の策定が必要だと提唱し、様々な企業・団体を支援し、企業の社会的責任を強化するための専門的な知見を提供している。その他、一般社団法人メードイン・ジャパン・コンソーシアム理事長、一般社団法人太陽経済の会事務局長、NPO 外国人生活総合支援協会副理事長、情報産業三田会副理事長を歴任、現在は財団法人防衛基盤整備協会理事、一般社団法人日本サステナブルビジネス機構理事。

一般の部		
1 浜名湖ネイチャーズ 未来を担う子供たちに『アマモ』の存在や、浜名湖の伝統漁業の一つに『潮干狩り』があったことを知ってもらい、地元の子供たちが郷土を愛し、郷土を誇りに思って未来を歩むことができるようにすることを目的に活動している。浜名湖を豊かにするために、地元の市民活動団体やアマモの研究家、行政、小中学校、観光協会、弁天島遊船組合など、多種多様な方々とともにアマモの保護活動と潮干狩りの復活に取り組んでいる。	2 大瀬モータース 高齢者が免許返納後も地域や社会と関りを持つことができ、安心して暮らすことができるまちづくりを目指すところから活動を開始し、寄贈された絵本の私設図書館や駄菓子屋を運営することで、こどもからお年寄りまで、障がいのある方もだれひとり取り残さない、楽しめる空間を提供している。【運転免許自主返納者サポート店】【浜松市認知症高齢者等に優しいお店・事業所】【こども110番のお店】【浜松市子供安全ネットワーク推進事業協力者】として、必要な人に届くよう取り組んでいる。	3 中村建設株式会社 開発のコンセプトは、①耕作放棄地、空地の利活用、②天竜エコテラスから最終的に発生する溶融スラグの肥料活用、③CO2を吸収するネガティブエミッションの実施、④大きな投資を必要とせず誰もが参加できる脱炭素サイクルシステムの構築、である。脱炭素社会の実現に向け、浜松発でCO2吸収のネガティブエミッション分野に特化した新しいシステムの開発、運用に取り組んでいる。
4 社会福祉法人 復泉会 くるみ作業所 リサイクル事業 「であい・ふれあい・きづ(ず)きあい」を大切に、障がいのある人が地域で当たり前になる生活が出来る地域社会創りとその発展を目的としている。「よみがえる資源、みんなで福祉」をテーマに、アルミ缶リサイクル事業を通して、利用者の社会参加の場を創り、地域で発生する資源回収問題の解決に携わり、福祉に関わる窓口となり、福祉の循環型社会を実現し、みんなで福祉の輪を広げる取り組みを実施している。	5 株式会社JACKカンパニー 遠州料理を通じてやらまいか精神を浸透させることを目的に、浜松市の歴史文化を盛り込んだ「遠州人が自慢したくなるお店」を複数展開。駅周辺の賑わいづくりとともにアクティブシニアの雇用を行う。地ビールの醸造開始に伴い、廃棄される麦芽かすを放課後等デイサービスに送り、堆肥づくりを実施。発達障害の子ども達の育成と食品ロス削減を目的とした循環型経済を実践している。	6 siisow株式会社 地域資源である遠州織物を活用した服作りを通じた、より良い暮らしのための環境づくりを目的に、個々のライフスタイルやライフステージに合わせた柔軟な働き方を提供することで、経済的な自立を目指す環境を整えている。地域や人、モノごとのつながりを大切に、「暮らしに調和するエシカルなものづくり」を実施し、企業理念「えがおのたねまき」をテーマに、笑顔が広がる価値共創コミュニティを目指している。



山名 裕
浜松市副市長



飯倉 清太氏
静岡大学 地域創造学環 客員教授
特定非営利活動法人
NPOサブライズ 代表理事



松田 孝裕氏
一般社団法人
日本サステナブルビジネス機構理事
SDGsコンサルタント



服部 乃利子氏
静岡県地球温暖化防止活動
推進センター センター次長